

学 年

4 年

わり算①

年 組 氏名

① 94まいの色紙を、31枚ずつ分けるとき、何人に分けられて何枚あまるか考えます。

①式をかきましょう。

--

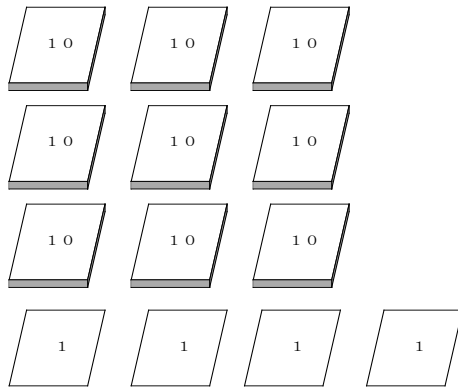
②商の見当をつけます。ゆうすけさんは「かけ算の見積もりと同じようにできないかな？」と考えました。ゆうすけさんの説明の続きを考えましょう。

94 × 31 の計算をするとき、およそ 90 × 30 と考えて見積もりをしたよ。だから、この計算も、

( ) ÷ ( )

と考えると、商はおよそ ( ) と見当がつくよ。

③図で考えてみましょう。



③②で見当をつけた商で、計算してみましょう。

3	1	9	4

④答えをかきましょう。 ( )

⑤答えのたしかめをしましょう。

( ) × ( ) + ( ) =

学 年

4 年

わり算①

年 組 氏名

① 94まいの色紙を、31枚ずつ分けるとき、何人に分けられて何枚あまるか考えます。

①式をかきましょう。

$$94 \div 31$$

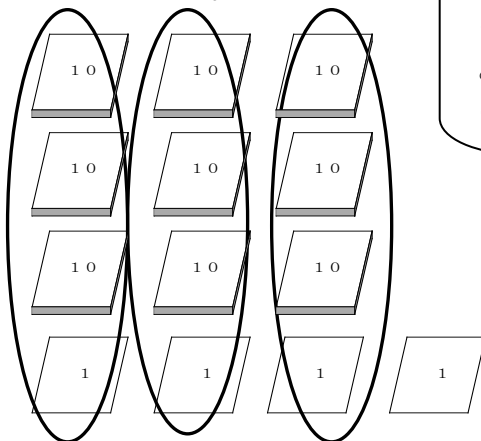
②商の見当をつけます。ゆうすけさんは「かけ算の見積もりと同じようにできないかな？」と考えました。ゆうすけさんの説明の続きを考えましょう。

94 × 31の計算をするとき、およそ90 × 30と考えて見積もりをしたよ。だから、この計算も、

$$( 90 ) \div ( 30 )$$

と考えると、商はおおよそ ( 3 ) と見当がつくよ。

③図で考えてみましょう。



90は10のたばが9こ  
30は10のたばが3こ  
と考えると、  
 $9 \div 3 = 3$ と考えられるね。

③②で見当をつけた商で、計算してみましょう。

			3
3	1	9	4
		9	3
			1

① 見当をつけた3をたてる。

② 3と31をかける。

③ 94から93をひく。

④答えをかきましょう。 ( 3人に分けられて、1枚あまる )

⑤答えのたしかめをしましょう。

$$( 31 ) \times ( 3 ) + ( 1 ) = 94$$

学 年

4年

## わり算②

年 組 氏名

1  $83 \div 41$  を計算します。

①商の見当をつけましょう。

( )  $\div$  ( ) と考えて、商は ( )

②①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

4	1	)	83

③答えのたしかめをしましょう。

( )  $\times$  ( ) + ( ) =2  $90 \div 21$  を計算します。

①商の見当をつけましょう。

( )  $\div$  ( ) と考えて、商は ( )

②①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

2	1	)	90

③答えのたしかめをしましょう。

( )  $\times$  ( ) + ( ) =

学 年

4 年

わり算②

年 組 氏名

1  $83 \div 41$  を計算します。

① 商の見当をつけましょう。

( 80 )  $\div$  ( 40 ) と考えて、商は ( 2 )

② ①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

			2
4	1	8	3
		8	2
			1

① 見当をつけた 2 をたてる。

② 41 に 2 をかける。

③ 83 から 82 をひく。

※ あまりがわる数 (41) より小さいことを確認する。

③ 答えのたしかめをしましょう。

( 41 )  $\times$  ( 2 ) + ( 1 ) = 83

10 のたばで考えると、 $9 \div 2 = 4$  あまり 1 だね。商の見当をつけているだけだから、あまりは考えなくていいね。

2  $90 \div 21$  を計算します。

① 商の見当をつけましょう。

( 90 )  $\div$  ( 20 ) と考えて、商は ( 4 )

② ①で見当をつけた商で、計算してみましょう。

			4
2	1	9	0
		8	4
			6

① たてる。

② かける。

③ ひく。

③ 答えのたしかめをしましょう。

( 21 )  $\times$  ( 4 ) + ( 6 ) = 90

学 年

4 年

わり算③

年 組 氏名

1 323枚の色紙を、24人で同じ数ずつ分けます。1人分は何枚になって、何枚あまりますか。

①式をかきましょう。

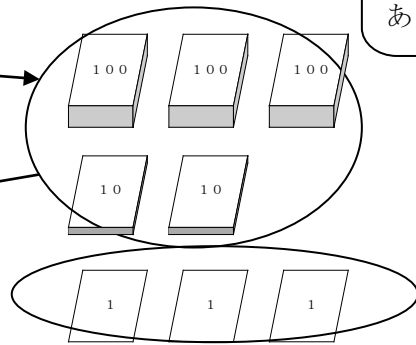
--

百	十	一
3	2	3

10は  
いくつ  
ありますか。

② 計算のしかたを考えます。

- ・10のたばにして考えると、  
( )たばを、24人で分けるので、  
1人( )たば分けられます。



2	4	3	2	3	

1枚ずつのばらは、まだ考えなくていいね。

・次に、残りの色紙を分けて、あまりも考えましょう。

			1		
2	4	3	2	3	
		2	4		
		8	3		

83枚を24人で分けるので...

残りは83まいだね。

③答えを考えましょう。

--

学 年  
 4 年

わり算③

年 組 氏名

1 323枚の色紙を、24人で同じ数ずつ分けます。1人分は何枚になって、何枚あまりますか。

①式をかきましょう。

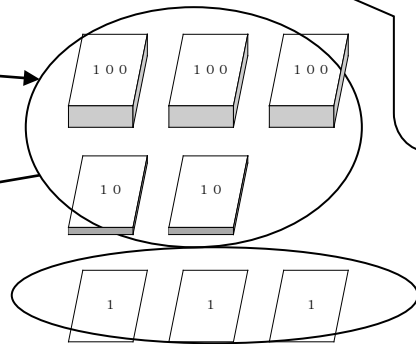
$$323 \div 24$$

百	十	一
3	2	3

10は  
 いくつ  
 ありますか。  
 32ですね。

② 計算のしかたを考えます。

- ・10のたばにして考えると、  
 ( 32 ) たばを、24人で分けるので、  
 1人 ( 1 ) たば分けられます。



			1	
2	4	3	2	3
		2	4	
			8	3

1枚ずつのばらは、まだ考えなくていいね。

・次に、残りの色紙を分けて、あまりも考えましょう。

			1	3
2	4	3	2	3
		2	4	
			8	3
			7	2
			1	1

83枚を24人で分けるので...

残りは83まいだね。

③答えを考えましょう。

1人分は13枚で、11枚あまる。

学 年

4年

わり算④

年 組 氏名

1 200 ÷ 25 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

2	5	)	2	0	0

②わられる数とわる数に2をかけて、商を考えてみましょう。

$$200 \div 25 = 8$$



$$\boxed{\phantom{200}} \div \boxed{\phantom{25}} = \boxed{\phantom{8}}$$

③わられる数とわる数に4をかけて、商を考えてみましょう。

$$200 \div 25 = 8$$



$$\boxed{\phantom{200}} \div \boxed{\phantom{25}} = \boxed{\phantom{8}}$$

④上のことから、わかることをまとめました。( ) に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数に、同じ数を ( ) も

商は ( ) 。

2 240 ÷ 60 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

6	0	)	2	4	0

240 cmのリボンを、  
60 cmずつとっていくと…  
60, 120, 180, 240  
たしかに、4本ちょうどとれるね。  
じゃあ、24 cmのリボンから、  
6 cmずつとると同じだね？

②わられる数とわる数を10でわって、商を考えてみましょう。

$$240 \div 60 = 4$$

↓     ↓

$\boxed{\div 10}$   
 $\square \div \square = \square$

$\boxed{\div 10}$   
 $\square \div \square = \square$

10が24こ集まったものの中に、  
10が6こ集まったものは、  
いくつぶんあるのかな？  
つまり、どちらも10の集まりだから、  
わられる数も、わる数も、10で  
わってから計算してもいっしょだね。

④わられる数とわる数を30でわって、商を考えてみましょう。

$$240 \div 60 = 4$$

↓     ↓

$\boxed{\div 30}$   
 $\square \div \square = \square$

$\boxed{\div 30}$   
 $\square \div \square = \square$

⑥上のことから、わかることをまとめました。( ) に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数を、同じ数で ( ) も

商は ( ) 。

3 わり算のきまりをつかって、工夫して計算しましょう。

①  $300 \div 25 =$

↓     ↓

$\square$   
 $\square \div \square = \square$

$\square$   
 $\square \div \square = \square$

②  $270 \div 30 =$

↓     ↓

$\square$   
 $\square \div \square = \square$

$\square$   
 $\square \div \square = \square$



学 年

4 年

## わり算④

年 組 氏名

1 200 ÷ 25 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

				8
2	5	)	2	0
			2	0
				0

②わられる数とわる数に2をかけて、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{r}
 200 \div 25 = 8 \\
 \downarrow \times 2 \quad \downarrow \times 2 \\
 400 \div 50 = 8
 \end{array}$$

③わられる数とわる数に4をかけて、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{r}
 200 \div 25 = 8 \\
 \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\
 800 \div 100 = 8
 \end{array}$$

④上のことから、わかることをまとめました。( ) に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数に、同じ数を ( かけて ) も

商は ( 変わらない ) 。

同じ意味の言葉ならいいよ。

2 240 ÷ 60 の計算について考えます。

①筆算で計算してみましょう。

				4	
6	0	)	2	4	0
			2	4	0
					0

240 cmのリボンを、60 cmずつとっていくと…  
 60, 120, 180, 240  
 たしかに、4本ちょうどとれるね。  
 じゃあ、24 cmのリボンを、6 cmずつとっていくと？  
 6, 12, 18, 24…やっぱり4本とれるね。

②わられる数とわる数を10でわって、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{c}
 240 \div 60 = 4 \\
 \downarrow \boxed{\div 10} \quad \downarrow \boxed{\div 10} \\
 \boxed{24} \div \boxed{6} = \boxed{4}
 \end{array}$$

24個の集まりの中に、6個の集まりはいくつかな？  
 24 ÷ 6 の式で計算できるね。  
 つまり、わられる数、わる数も10でわってもいっしょということだね。

④わられる数とわる数を20でわって、商を考えてみましょう。

$$\begin{array}{c}
 240 \div 60 = 4 \\
 \downarrow \boxed{\div 30} \quad \downarrow \boxed{\div 30} \\
 \boxed{8} \div \boxed{2} = \boxed{4}
 \end{array}$$

⑥上のことから、わかることをまとめました。( ) に合うことばをかきましょう。

わられる数とわる数を、同じ数で ( わって ) も

商は ( 変わらない ) 。

3 わり算のきまりをつかって、工夫して計算しましょう。

$$\begin{array}{c}
 ① 300 \div 25 = 12 \\
 \downarrow \boxed{\times 4} \quad \downarrow \boxed{\times 4} \\
 \boxed{1200} \div \boxed{100} = \boxed{12}
 \end{array}$$

25 × 4 = 100 だね

$$\begin{array}{c}
 ② 270 \div 30 = 9 \\
 \downarrow \boxed{\div 30} \quad \downarrow \boxed{\div 30} \\
 \boxed{9} \div \boxed{1} = \boxed{9}
 \end{array}$$

できるだけ小さい数でわると計算しやすいね

学 年

4年

## わり算⑤

年 組 氏名

- 1 ゆうすけさんとあずみさんは、 $60 \div 15$ を、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えています。

ゆうすけさんの考え

 $60 \div 15$  の、りょうほうの数を3でわると、( )  $\div$  ( ) になります。 $20 \div 5 = 4$ なので、 $60 \div 15$  の答えも( ) になります。

あずみさんの考え

 $60 \div 15$  のりょうほうの数に2をかけると、( )  $\div$  ( ) になります。 $120 \div 30 = 4$ なので、 $60 \div 15$  の答えも( ) になります。

- 2 あなたも次の計算を、ゆうすけさんやあずみさんのように、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えてみましょう。

$$250 \div 50$$

 $250 \div 50$  のりょうほうの数 \_\_\_\_\_

( )  $\div$  ( ) = \_\_\_\_\_ なので、 $250 \div 50$  の答えも( ) になります。

学 年

4年

## わり算⑤

年 組 氏名

- 1 ゆうすけさんとあずみさんは、 $60 \div 15$ を、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えています。

ゆうすけさんの考え

$60 \div 15$  のりょうほう数を3でわると、

( 20 )  $\div$  ( 5 ) になります。

$20 \div 5 = 4$ なので、 $60 \div 15$  の答えも( 4 )になります。

あずみさんの考え

$60 \div 15$  のりょうほうの数に2をかけると、

( 120 )  $\div$  ( 30 ) になります。

$120 \div 30 = 4$ なので、 $60 \div 15$  の答えも( 4 )になります。

- 2 あなたも次の計算を、ゆうすけさんやあずみさんのように、わり算のきまりをつかって、できるだけかんたんな計算で考えてみましょう。

$$250 \div 50$$

$250 \div 50$  のりょうほうの数を ( に )

10でわると  
 $25 \div 5$

2をかけると  
 $500 \div 100$

5でわると  
 $50 \div 10$

50でわると  
 $5 \div 1$

( )  $\div$  ( ) = ( ) なので、 $250 \div 50$  の答えも( 5 )になります。